

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟 御中

(写) JA3DKW 永井監事

JE7JGG 佐藤監事

## 平成 30 年定時社員総会における 定款第 13 条に基づく付議

平成 30 年 3 月 1 日

社員 JJ1WTL 本林良太



1 対象者： JA1TZK 木村信次郎氏.

2 理由： 以下の 2.1 および 2.2 項による.

かかる行為は、本条に定めのある「本連盟の名誉を傷つけ、又は本連盟の目的に反する行為をしたとき」および「その他正当な事由があるとき」に相当するものと認められることから、本件（同氏の除名）につき付議する.

2.1 自己の経営する TSS 株式会社は、連盟の業務を受託していた立場を悪用し、連盟の IT システムの運用を混乱させ業務の妨害を図ったという、一アウトソース受託企業としてあるまじき行為があった点.

一例として端的には、ドメインの jarl.or.jp から jarl.org へのやむを得ない移転（その周知を含む）といった被害を、連盟は被っている.

具体的には、以下の 2.1.1 から 2.1.4 項の 4 点を最低限、指す：

### 2.1.1 会員情報管理システムへのアクセスの遮断

平成 25 年 11 月 2 日ごろから、連盟から会員情報の管理システム（TSS 株式会社管理）への接続を遮断.

### 2.1.2 JARL Web サーバ（jarl.or.jp）の改竄

平成 25 年 11 月 11 日夜から、JARL Web の掲載内容を「2011 年 11 月現在」のものにロールバック.

なお、当該サーバは連盟会員以外の目にも触れるものでもあるし、アマチュア無線家以外も目にする Web ニュース（srad.jp）においても言及されたことから、「本連盟の名誉を傷つけ」の基準にも該当するものとみなした.

### 2.1.3 メールマガジンの配信拒否

平成 25 年 11 月 7 日、上述 2.1.1 項の事実などを通知しようとした連盟事務局の依頼を拒絶.

#### 2.1.4 Eメール転送サービスのスパム増と対処の放置

平成 25 年 10 月 21 日にスパムフィルタが機能を停止。

その後、平成 25 年 12 月 20 日に配信経路がアグレックス社経由に改められるまで、対処および問い合わせへの返答なし。

とくに、jarl.com からのメールの転送先が@nifty となっていた会員においては、結果として「メールが不達になる」という、本質的な被害を被った。

- 2.2 市価であれば年間 2,000 万円程度で十分提供できる業務なのにもかかわらず、連盟に対し長年年間 5,000 万円程度の委託額を請求し続け、連盟の財務体質を毀損させた点。

### 3 以上参考

- 3.1 2.1 項に示した連盟の被害の内容については、以下などに転載されている「日野岳専務理事から支部長に宛てたメール」（平成 25 年 11 月 12 日付、別紙参照）によった：

『JARL の Web サイトなどの障害に関する情報』

[http://jh3ykv.rgr.jp/mt/2013/11/jarlweb\\_5.html](http://jh3ykv.rgr.jp/mt/2013/11/jarlweb_5.html)

『<JARL システム障害問題>JARL 専務理事による「経緯説明文」、理事ら関係者のブログに掲載が相次ぐ』

<http://www.hamlife.jp/2013/11/14/jarl-system-accident-1114/>

- 3.2 とくに 2.1.4 項については自己の観測にもよった  
([http://jj1wtl.at.webry.info/201401/article\\_1.html](http://jj1wtl.at.webry.info/201401/article_1.html))。

- 3.3 2.2 項については、『第 4 弾 JARL そこまで言って委員会』での理事者からの発言 ([http://jj1wtl.at.webry.info/201407/article\\_11.html](http://jj1wtl.at.webry.info/201407/article_11.html)) によった。

- 3.4 その他としては以下のとおり：

『【追記】JARL、「JARL.COM メール転送サービス」の障害発生を告知』

<http://www.hamlife.jp/2013/11/22/jarl-mailtensou-accident/>

『日本アマチュア無線連盟、業務委託先とのトラブルにより一部サービスが停止状態へ』（付されているコメントには誤解あり）

<http://it.srad.jp/story/13/11/18/0524232/>

支部長 各位

いつもお世話様になっております。専務理事の日野岳です。

既に JARL Web 等でご承知のことと存じますが、次のとおり、TSS 社を原因とした様々な障害が発生しております。

TSS 社社長に対しては、顧問弁護士とも相談しながら、速やかに復旧・対応するよう申し入れを再三行っていますが、解決の目途がたっておりません。

1. 会員情報管理システムの障害について

平成 25 年 11 月 2 日ごろより、TSS 社が管理する会員情報の管理システムにインターネット接続ができなくなりました。これは巣鴨から大塚に移転した日ですが巣鴨の事務所からも接続できなくなっており、移転が原因とは考えられません。

現在のところ、手作業による会員管理を行っていますが、会員の住所変更や入会手続きができない等の障害が発生しております。

2. JARL Web サーバー(jarl.or.jp)の改ざん

1. とほぼ同時期に JARL web の一部のページの更新作業ができない状態になり、さらにその後、JARL Web のトップページが古いものにすり替えられて、JARL から一切コントロールできなくなりました。

なお、JARL では JARL Web を補完するため、下記の URL にホームページを立ち上げておりますので、会員等各位にもお知らせさせていただきますようお願いいたします。

<http://www.jarl.org/>

3. メールマガジンの配信拒否

11 月 7 日、JARL Web のトップページに掲載していたシステム障害情報と同様の内容を盛り込んだメールマガジンを配信するため、TSS 社に依頼したところ、同社社長から事実誤認であり TSS 社への誹謗中傷にあたるとして配信を拒否されました。

再三申し入れているものの拒否したままですので、他社からの配信も検討しております。

4. E メール転送サービスのスパム急増

10 月下旬頃から、スパムが急増したとの情報が入りはじめました。

TSS 社との因果関係は定かではありませんが、届いた苦情メールを TSS 社あて転送して原因の分析や対策を求めています、いっさいの回答が得られていません。

以上、皆様にはご迷惑とご不便をおかけしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

— 以上 —